

## 食品リサイクル促進等総合対策事業

【78（77）百万円】

### 対策のポイント

製造業者・卸売業者・小売業者等による食品ロス削減のための取組と併せて、リサイクルが低迷している小売業・外食産業における食品廃棄物等の再生利用の取組等を促進します。

### <背景／課題>

- ・世界で約8億人の人々が栄養不足状態にある中、我が国の食品産業においては、年間1,927万トンの食品廃棄物等が排出され、このうち本来食べられるにもかかわらず廃棄される「食品ロス」が330万トン発生していると推計されています。また、食品産業全体では、食品廃棄物の再生利用等実施率が85%に達するものの、食品廃棄物の分別が困難であるなどの理由から食品小売業や外食産業では再生利用等実施率が低迷しています。
- ・本年6月に閣議決定された「日本再興戦略2016」等においても「食品ロスの削減」等が盛り込まれており、「もったいない」の発祥の地である我が国において食品ロスの削減や食品廃棄物のリサイクルを推進することは喫緊の課題となっています。

### 政策目標

食品廃棄物等の再生利用等実施率の目標達成  
(食品製造業95%、食品卸売業70%、食品小売業55%、外食産業50%)

### <主な内容>

#### 1. 食品ロス削減国民運動の展開

44（24）百万円

個別企業等では解決が困難な商慣習の見直しに向けたフードチェーン全体の取組やフードバンク活動<sup>\*1</sup>を行う団体が食品関連事業者からの信頼を向上させ食品の受入量拡大を図る取組等を支援します。

※1 フードバンク活動とは、包装の印字ミスなど、食品の品質には問題ないが、通常の販売が困難な食品をNPO法人等が食品メーカー等から引き取り、福祉施設等へ無償提供するボランティア活動

（補助率：定額、1／2以内）  
（事業実施主体：民間団体等）

### <各省との連携>

○ 5府省（消費者庁、文科省、農水省、経産省、環境省）

- ・「食品ロス削減関係省庁等連絡会議」を構成する5府省が連携し、官民をあげて食品ロス削減国民運動（NO-FOODLOSS PROJECT）を展開

#### 2. 食品流通の川下における食品廃棄物の再生利用等の促進

7（25）百万円

食品小売業者や外食事業者が、再生利用事業者、農業者と連携して、食品廃棄物のメタン化及びメタン発酵消化液<sup>\*2</sup>の肥料利用を行うための取組を支援します。

※2 メタン発酵消化液とは、有機物をメタン発酵処理し、バイオガスをとった後に残る肥料成分を多く含む液体

（補助率：定額、1／2以内）  
（事業実施主体：民間団体等）

お問い合わせ先：

食料産業局バイオマス循環資源課

（03-6744-2066）

## 現状と課題

- 食品ロスの要因の一つとされている商慣習の見直しについて、平成24年度から27年度にかけて検討
- 生産・流通などの過程で発生する未利用食品を必要としている人や施設に届けるフードバンク活動が広がり始めたところ

## 対応

- 製造業者・卸売業者・小売業者等による食品ロス削減のための更なる取組を推進、消費者への理解の促進
- フードバンクの利用促進や資質の向上

新たに以下の取組を拡充

## 食品産業における食品ロス削減の促進

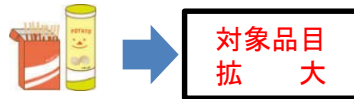
### 事業内容

食品ロスの要因の一つとなっている商慣習について更なる見直しを行うとともに、見直しの取組について消費者理解を促進

### 具体的内容

#### 【検討する取組】

- ・加工食品の納品期限を緩和する対象品目の拡大
- ・商慣習の見直しに取り組む企業の拡大等



#### 【情報発信】

- ・食品関連事業者の商慣習の見直しに向けた取組の内容について、消費者への理解促進につながる広報資材を作成し情報を発信

## フードバンク活動の推進

### 事業内容

食品関連事業者等によるフードバンクの利用を促進するとともに、フードバンクの資質向上を推進

### 具体的内容

#### 【利用促進】

- ・食品関連事業者、福祉関係団体及び地方公共団体等を対象としたセミナーの開催

#### 【資質向上】

- ・フードバンクの資質を向上するための衛生管理技術等講習会の開催



商慣習の見直しによる食品ロスの削減、フードバンク活動の活性化